

大竹進さんの当選を信じ(願い)ながら

いよいよ投票日も近づいて参りました。有権者の皆様、大竹さんと、青森県や青森県民のために、いや日本全体のためにも、益々頑張ってください。6月7日は、呉々も棄権などなさないで下さい。

戦前・戦中は言うに及ばず、戦後約70年もの間、自民党系政権などの言いなりにして、悲惨な現在の状態を迎えてきた青森県から、この日本全体を変えようではありませんか。その第一歩を、この6月7日に踏み出しましょう。

「光は北方より」の時代が、日本にもいま訪れようとしております。この度の青森県知事選がそれです。欧米のように、「北ほど進んでいる日本」の実現を目指して、その第一歩を踏み出そうではありませんか。

南の沖縄県知事が、あれだけ安倍政権を憂い、日本全体の将来や、日米関係、太平洋・世界平和の在り方、人類そのものの進路や未来についてまでも憂っているではありませんか。

そのためにも、大竹候補を青森県知事に仰いで、(1)農業重視の故郷(ふるさと)青森を守り、(2)脱核燃・脱原発を一日も早く実現し、(3)知性豊かな多くの県民を擁する青森県を実現しようではありませんか。

そして、この2015年を、「青森(県)元年」にしようではありませんか。この6月7日を末永く、「青森県民の日」として県史と日本史に残そうではありませんか。

(2015年5月30日、品川信良 記す)